

新幹線プレス

2012年5月23日 No.50

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

組合の弱体化攻撃を許さない！東二運分会が決起集会！

5月22日、JR東海労東二運分会は、大崎第一区民集会所で「組織破壊攻撃粉碎決起集会」を開催しました。集会には約50名の組合員・OBが参加し、会社の東二運分会への弱体化攻撃を許さず、JR東海労全体の攻撃と受けとめ職場から闘っていくことを確認しました。

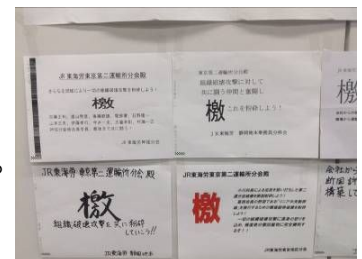
会社は、東二運斉藤書記長に対し、酒気帯び出勤をデッチ上げ減給を発令しました。尾崎副分会長に対して、安全上問題がない事象にもかかわらず、不当な再教育をし試験不合格として不当配転をしました。また、庭山分会長に対し「勤務時間中に食事をした事で時系列報告書を拒否した」とし不当にも訓告処分を発令しました。この処分は、出勤時間より早く出勤し準備をし空いている時間に食事をする事は慣例として多くの乗務員が行っている現実を無視したものです。内村副分会長に対しては、昨年8月から10月にわたり営業科長をはじめ10数回の異常な添乗がされ、些細な事を指摘し、乗務報告書に記載する事を強要してきました。廣瀬執行委員(本部乗務員分科会々長)には「UBSを扱うのが遅い」と言いがかりをつけ見極め試験を実施し、再教育としました。



これらの事象は、理不尽な事で絶対認められないものです。東二運分会はこれまで「命令と服従」「規律と忠誠心」の異常な労務管理に対し、職場から声を出し闘ってきました。この闘いは他労組にも共感を得てきました。会社は、東二運分会の弱体化を目的にし、組合役員を狙い撃ちしているのです。

各地から激励が寄せられ、組織一丸となり闘うことを確認！

集会では川野組織部長より、「職場では役員を中心に、組合の弱体を狙った攻撃がされている。この攻撃を許さず反撃する為の決起の場としていく。3・11を含めて労働組合の価値観が問われている。命令と服従・規律と忠誠心の異常な労務管理を許さない。安全を第一とし、福知山脱線事故を二度と起こさないという取り組みを」と力強いあいさつがされました。



来賓として、本部小林書記長、新幹線地本成田委員長、名古屋地本今井副委員長、関西地本大二運分会安東副分会長、本部OB会田中事務長より激励のあいさつがありました。また、不当な攻撃を受けている庭山分会長、尾崎副分会長、内村副分会長、斉藤書記長、廣瀬執行委員より「会社から不当で理不尽な攻撃を受けているが、これに屈することなく職場から今後も声を出し闘っていく」という決意が述べられました。さらに、各分会から「東二運にかけられている攻撃はJR東海労全体にかけられているものだ。組織一丸となり闘っていこう」という連帯のあいさつがありました。そして各地から多くの激励の取り組みがされています。

JR東海労新幹線地本は東二運にかけられている組合の弱体化を狙った攻撃を許さず、全職場から、職場から声を出し闘っていきます。